

【新企画】第1回 NCGMRI Science Forum

久保田 義顕 先生

慶應義塾大学医学部 解剖学教室 教授

血管・リンパ管の発生と病態

2018年5月23日(水)17:30～ (参加自由)

研究所B1F大会議室AB(国府台中継あり)

【講演要旨】血管とリンパ管は、別々のネットワークを全身に張り巡らせ、それぞれ独立した機能を発揮する。血管の機能としては、主に肺から取り入れた酸素を末梢組織に運搬し毛細血管で組織に受け渡す。このため、血管のパターニングは臓器の恒常性維持、機能発揮のために最適な形にカスタマイズされ、多様性を持って発生する。一方、リンパ管は毛細血管が回収しきれなかった組織液を取り込み、頸部の静脈角から血液へと環流する。リンパ管も血管同様、臓器によって多様であり、その発生を制御するメカニズムも一様では無い。血管とリンパ管の構造・組織学的特徴を比べると、ほぼ見分けがつかないほど酷似しており、何らかの機構で両者がお互いを見分け、独立性を担保していると考えられる。本講演では、臓器固有の血管パターニングがいかにして形成されるかを、異種細胞間クロストークの観点からアプローチし、また、血管とリンパ管が各々の identity を獲得する内因性のメカニズムに関し、本研究室の最新の知見を紹介したい。

【関連文献】

- 1) Tai-Nagara I et al., **Development** 144:2392-2401, 2017
- 2) Yoshikawa Y et al., **J Exp Med** 213:1175-1183, 2016
- 3) Okabe K et al., **Cell** 159:584-596, 2014
- 4) Okuno Y et al., **Nat Med** 18:1208-1216, 2012

主催：NCGMRI Science Forum実行委員会

当番世話人：生体恒常性プロジェクト・田久保 圭誉(内線2875)